

(JSiSE 研究会委員会委員長／竹内章)

◆テーマ：新しいデバイスと教育システム／一般◆

■ 開催日：2009 年 1 月 23 日（金）

■ 会 場：八王子学園都市センター 第 1 セミナー室

東京都八王子市旭町 9 番 1 号 八王子（東急）スクエアビル 12 階

<http://www.hachiojibunka.or.jp/gakuen/gakuenn-top.htm>

■ 主 旨：

近年の急速なブロードバンドの普及に加え、タブレット PC や UMPC、さらには、iPhone や BlackBerry に代表されるスマートフォン、PSP や DS 等のネットワーク接続可能なポータブルゲームデバイスの普及による Web とモバイル環境の連携・融合、さらには、ペン入力やマルチタッチ、ヘッドマウントディスプレイや加速度センサデバイス等の新しいハードウェア技術に加え、Ajax や Flex に代表されるインタラクティブ性の高いソフトウェア開発技術による新しいユーザ・エクスペリエンスの可能性などにより、ユビキタス環境・モバイル環境における、新しい教育・学習形態の可能性がますます広がりつつあります。

そこで本研究会では、これら新しいデバイスやソフトウェア開発技術、メディアデータを利用した新しい教育・学習手法の提案やその実践、そのための教育システムや基礎技術、およびその評価手法の研究・開発等、現在、ならびに将来の新しい教育・学習手法に関する幅広い研究の発表を募集します。

■ 主な対象：

- ・ Web や携帯ネットワーク、センサーネットワーク、アドホックネットワーク等を活用した新しいモバイル&ユビキタスラーニング手法に関する研究・開発
- ・ モバイル端末と web 環境の連携による新しい学習形態と手法に関する研究・開発
- ・ モバイル&ユビキタスラーニングのための新しいデバイス技術に関する研究・開発
- ・ モバイル&ユビキタスラーニングや遠隔教育のためのマルチタッチやペンコンピューティング、ヘッドマウントディスプレイ、加速度センサ等の活用による新しいユーザ・エクスペリエンス技術に関する研究・開発
- ・ モバイル&ユビキタスラーニングや遠隔教育のための拡張現実感技術の開発ならびに応用に関する研究
- ・ モバイル&ユビキタスラーニングや遠隔教育の実践と効果に関する研究
- ・ モバイル&ユビキタスラーニング活用したフィールド学習手法の開発と実践に関する研究
- ・ ユーザ・エクスペリエンスと学習効果・教育効果に関する研究
- ・ その他、モバイルラーニングやユビキタスラーニング、遠隔教育のためのユーザ・エクスペリエンスに関する研究・開発
- ・ その他教育システム/e ラーニング一般

■ 発表申込み：

※発表申込み締切：2008 年 11 月 7 日（金）

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100 字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. その他（使用機器など）
6. 申込先：第 5 回研究会担当委員（代表：拓殖大学工学部 佐々木 整）

E-mail: jsise-uml@eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

■ 発表原稿の提出：

※発表原稿提出締切：2008年12月5日（金）必着

1. 原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会誌巻末に掲載している学会誌原稿執筆要項に準拠してください。ただし、「英文アブストラクト」にかえて「和文アブストラクト」を記載してください。
3. 原稿送付方法と送付先

以下のあて先に、フォント埋め込みされたPDF形式にて、電子メールにて原稿を送信下さい。

送付先：第5回研究会担当委員(代表：拓殖大学工学部 佐々木 整)

E-mail: jsise-uml@eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

なお、原稿をPDFに変換する際に、図の解像度が十分となっていない場合があります。PDF変換時に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)、鮮明に印刷可能であることを確認してください。

■ 問い合わせ先

第5回研究会担当委員(佐々木 整、永森 正仁、三石 大)

E-mail: jsise-uml_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

(_at_ を@に変えてください)

(代表)

拓殖大学工学部 佐々木 整

Tel. 022-795-6155, Fax. 022-795-3115

E-mail: sasaki_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

(_at_ を@に変えてください)

■ 担当：佐々木 整、永森 正仁、三石 大（研究会委員会）



■■■■■2008 年度 研究会開催予定■■■■■

日 時	内 容	会 場	担 当
2008 年 10 月 4 日 (土)	第 3 回研究会 ゲーム・シミュレーション，エンタテインメントと教育／一般	香川大学	伊東、小西 林、米澤
2008 年 11 月 14 日 (金)	第 4 回研究会 新しいインタラククションを取り入れた学習支援およびスキル支援／一般	和歌山大学	小尻、柏原 曾我、平嶋
2009 年 1 月 23 日 (金)	第 5 回研究会 新しいデバイスと教育システム／一般	八王子学園 都市センター	佐々木 永森、三石
2009 年 3 月 14 日 (土)	第 6 回研究会 大学の情報教育／一般	長崎大学	松永、西野 西端



教育システム情報学会第 33 回全国大会終了報告

全国大会実行委員長 鈴木 克明 (熊本大学)

平成 20 年 9 月 3 日（水）から 5 日（金）までの 3 日間、熊本大学において教育システム情報学会第 33 回全国大会が開催されました。

432 名の参加を得て、基調講演、招待講演、特別講演、2 つのパネルディスカッション、6 つの企画セッション、5 つのワークショップ、22 セッションの一般講演における 258 件の発表、また 16 社（19 ブース）の企業の皆様の出展もあり、全国大会の名に恥じない規模の会とすることができました。多くの皆様にとっては地理的に遠い熊本の地（実際、「生まれてはじめて熊本に来た」と言われる方も多数おられました）に、どれだけお越しいただけるか企画段階から心配していたのですが、初日午前中のワークショップから多くの方の出席があり、関係者一同、とても嬉しく、そして心強く思いました。

これもひとえに会員の皆様、協賛・後援団体の皆様、特別講演・招待講演を頂戴した講師の方々、出展企業の皆様、そして遠路はるばる参加いただきましたすべての皆様のおかげと、心から感謝申し上げます。

本大会の実施にあたり、岡本会長をはじめ理事・評議員の皆様、伊東委員長・前迫副委員長をはじめとする大会企画委員会の皆様、竹内委員長をはじめとするプログラム委員会の皆様、最終日午後の講演やパネルディスカッションのコーディネート担当の仲林委員長をはじめとする産学連携・人材育成システム委員会の皆様には大変大きなお力添えを頂戴しました。さらに、ワークショップや企画セッションを企画運営いただいた各委員会の皆様、各セッションの座長の先生方、大会当日ご指導・ご支援を賜りました学会事務局の先生方にも深く感謝いたします。

【大会開催内容】

本大会は「e-Learning で創り出す社会と教育機関の連携」をメインテーマに、e-Learning を用いて教育機関が社会にどのように貢献できるか、そのために教育機関と社会がどのように連携できるかを考える場を目指しました。

全体会企画としては、初日に岡本会長による基調講演において、国際経済競争下での人材育成と JSiSE の役割についての問題提起がありました。そして、教育機関側の現状と今後について考える企画として、初日のパネルディスカッションで現代 G P ・特色 G P に取り組まれた 4 校から「e-Learning で大学教育はどう変わったのか、どう変えてゆくべきか」の現状報告と問題提起があり、2 日目の特別講演では文部科学省高等教育局専門教育課の小谷直和様より各種施策について紹介いただきました。

また、3日目には、産業界側から教育機関を見るための企画として、経済産業省経済産業政策局産業人材参事官室の奥田寛司様より「社会人基礎力」を中心に産業界が求める人材像について講演いただき、その後のパネルディスカッションで産業界・教育機関双方のパネラーにより、大学教育と企業の求める人材の関係やその中でのICTの活用、JSiSEの貢献について、会場の皆様と一体となった熱い議論が展開されました。

これらの全体企画に加えて、先端的な話題が取り上げられた初日のワークショップや2日目の企画セッション、多くの方の参加を得た一般講演においても様々な視点・視座からの活発な議論がなされ、メインテーマに掲げた「e-Learning で創り出す社会と教育機関の連携」に向けて学会として大きく前進できたのではないかと感じています。

今回、全国大会の開催校としてスタッフが共通して強く感じたのは、学会としての一体感、つまり学会員相互の絆です。大会準備から当日に至るまで、多くの学会員の方にご指導・ご助力いただいたのは前述の通りですが、当日もスタッフが不慣れで至らぬ点多々ありました。しかし、それらを参加者の皆様方の温かいご理解とご助力で乗り越え、無事に会を納めることができました。その意味で、私たちが用意して提供した大会というよりは、学会員全員で創り上げて成功に導いた大会だったんだな、と今、あらためて思います。開催校関係者も、学会の一員として数多くの発表をする機会を得て、全国からお集まりの皆様から貴重なアドバイスも多く頂戴しました。とても良い刺激となりましたことにも、厚く御礼申し上げます。

最後に、次年度開催されます名古屋大学での第34回全国大会が今年度にも増して、より充実した大会になることを祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

教育システム情報学会

第 34 回通常総会のご報告

■日 時 : 2008 年 9 月 4 日 13:00~14:00

■場 所 : 熊本大学 黒髪キャンパス

出席人数・54 名(最終総人数 72 名)、委任状・190 通の合計 262 名の出席が確認され、規程集第 43 条により、会員総数の 10 分の 1 以上を満たしている為、総会の開催は成立されました。

総会開催にあたって、議長の選出が行われ、慣例により岡本会長が選出され、拍手でもって承認されました。

【総会議案書】

第 1 号議案 2007 年度活動報告に関する件

2007 年度の活動について次のとおり報告します。

1. 会員数

	名誉会員	正会員	準会員	企業・ 団体会員	合計
2007 年度入会	0	55	48	0	103
2007 年度移動	0	5	-5	0	---
2007 年度退会	0	-17	-5	-1	-23
2007 年度会員数 2007. 3. 31 現在	1	1362	209	31	1603

なお、2008/07/31 現在の会員数は、1637 名です

2. 運営活動

2. 1 第 33 回通常総会

日時：2007 年 9 月 13 日

場所：信州大学

2. 2 理事会・評議会

○第 117 回理事会・評議会

日時：2007 年 5 月 26 日（土）

場所：東京 畜産会館

○第 118 回理事会・評議会

日時：2007 年 7 月 28 日（土）

場所：大阪経済大学 E 館

○第 119 回理事会・評議会

日時：2007 年 9 月 13 日（木）

場所：信州大学

○第 120 回理事会・評議会

日時：2007 年 9 月 29 日（土）

場所：畜産会館

○第 121 回理事会・評議会

日時：2007 年 11 月 24 日（土）

場所：大阪経済大学 E 館

○第 122 回理事会・評議会

日時：2008 年 2 月 2 日（土）

場所：銀座会議室 1 丁目

3. 事業活動

3. 1 研究会の開催

テーマ	担当	日時	場所
第 1 回 e ラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) /一般	松居辰則 仲林 清 石打智美	2007 年 5 月 25 日(金)	NTT 武蔵野研究 開発センター
第 2 回 Web テクノロジー/一般	不破 泰 野崎浩成 小松川浩	2007 年 7 月 14 日(土)	千歳科学技術大 学
第 3 回 問題を中心とした学習支援およびスキル支援 /一般	柏原昭博 平嶋 宗 小尻智子 曾我真人	2007 年 10 月 20 日(土)	名古屋大学
第 4 回 生涯学習につながる初等中等教育機関への ICT 学習支援/その他 -理科離れ、物作り離れを防ぐ I C T-	米澤宣義 林 敏浩	2007 年 11 月 24 日(土)	香川大学
第 5 回 モバイル・ユビキタス/一般	渡辺成良 佐々木整	2008 年 1 月 25 日(金)	八王子学園 都市センター
第 6 回 次世代情報教育の構築に向けて/一般	松永公廣 西野和典	2008 年 3 月 15 日(土)	静岡大学

3. 2 委員会活動 他

○企画委員会

シンポジウム

内 容：「教育システムにおけるオープンな潮流について」をテーマ

日 時：2007 年 8 月 30 日（木）慶應義塾大学

三田キャンパス第一校舎 122 教室（2F）

出席者数：約 50 人

JSiSE CMS 講習会

内 容：Moodle に関する講演と Moodle 利用体験

日 時：3 月 22 日（土）13 時～16 時半

場 所：中部大学技術医療専門学校

共 催：JSiSE 東海支部、後援：名古屋市教育委員会

参加者数：42 名

（大学関係者：26 名，小中高関係者：11 名，会社員：5 名）（うち非学会員 17 名）

概 要：本講習会では、CMS を利用したことのない方を対象に、CMS の一つである Moodle を利用した授業運営の紹介をした。後半では、模擬授業による受講体験で Moodle の基本操作を訓練した。

○国際化委員会

IEEE-ICALT2007

開催日：2007 年 7 月 18 日（水）～20 日（金）

場 所：新潟 朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター

共 催：教育システム情報学会

ICCE2007

開催日：2007 年 11 月 5 日（月）～9 日（金）

場 所：広島

共 催：教育システム情報学会

JSiSEの国際的Visibility向上について議論した結果

関連国際学会の協賛団体となること並びに

Best paper awardの賞金を出して、表彰の際に選定委員長から謝辞をもらうとともに、その学会に参加しているJSiSE関係者が代表して賞金を授与する」制度を導入した。

○渉外・活性化委員会

JSiSE 学生・院生研究発表会

2008年3月に東京・名古屋・高松の3会場で「JSiSE 学生・院生研究発表会」を開催。

1. 東京会場

開催日・開催場所：3月3日（月）電気通信大学

2. 名古屋会場

開催日・開催場所：3月8日（土）名古屋大学

3. 高松会場

開催日・開催場所：3月5日（水）香川大学

総発表者数：36名

総参加者数：117名

○情報教育特別委員会：情報教育に関する調査

大学新入生に対する教科「情報」知識および意識調査（2007年版）

実施日：2007年4月～5月

場 所：委員が所属する大学および協力大学（調査協力大学：8大学1793名）

実施結果は第32回全国大会で、情報教育特別委員会主催で開催するワークショップにて報告。

2006年度に開発した高等学校教科「情報」理解度診断テストを年度当初に、大学新入生を対象に実施して、高等学校までの情報教育で身に付けた知識理解度を調査した。

（調査協力大学：8大学1793名）

○e-Learning/CSCL システム・教育技術委員会

- ・ e-Learning World2007（出展）

開催日：2007年7月26日（木）～28日（土）

場 所：東京ビッグサイト

- ・ JSiSE全国大会ワークショップ

ワークショップ名：「e-Learningコンテンツの著作権と法的問題」

実施日：2007年9月12日（水）

場 所：信州大学

オーガナイザ：岡本敏雄、本田敏明

話題提供者：上野晴樹（国立情報学研究所）、田中規久雄（大阪大学）

○e-learning/CSCLシステム・教育技術委員会

暫定委員会を2007年3月6日に開催した。主な内容は以下のとおりである。

1. 委員会委員の承認（後日の理事会・評議会で承認を得た後、正式発足とすることで合意した。
2. 今年度の全国大会で委員会主催のワークショップを開催することで合意した。
3. 成果を刊行物にすることが話題となり、今後ワークショップと刊行物の準備を進めていくことで確認された。

○SNS・新技術創造委員会

1. 委員会メンバーを選定し、理事会にて承認を受けた。
2. 電子メールにて委員会活動に関する議論と、2008年度活動計画を立てた。

○会員獲得戦略委員会

会員獲得のための基盤をつくるための活動を実施

1. 入会キャンペーンの企画ならびに実施。
2. ポスター等に使用するキャッチフレーズの募集。
3. 学会イベントでの入会促進活動。
4. 企業・団体会員を含めた新会員をご紹介いただく為、従来からの会員の皆様への個別アプローチを実施。

○WWW 委員会

- ・ JSiSE Webサイトおよびメーリングリストを管理した。

3. 3 学会誌の発行

○論文誌

Vol. 24No. 2 JSiSE2007

Vol. 24No. 3 JSiSE2007

Vol. 24No. 4 JSiSE2007 (特集号：新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境)

○英文誌

Vol. 6 No. 1 JSiSE2007

3. 4 研究報告書の発行

Vol. 22, No. 1 研究報告

Vol. 22, No. 4 研究報告

Vol. 22, No. 2 研究報告

Vol. 22, No. 5 研究報告

Vol. 22, No. 3 研究報告

Vol. 22, No. 6 研究報告

3. 5 ニューズレターの発行

No. 147 2007 年 5 月 31 日

No. 151 2007 年 11 月 30 日

No. 148 2007 年 6 月 30 日

No. 152 2008 年 1 月 31 日

No. 149 2007 年 7 月 31 日

No. 153 2008 年 3 月 31 日

No. 150 2007 年 9 月 30 日

3. 6 全国大会

第 32 回全国大会

開催日時：2007 年 9 月 12 日（水）～14 日（金）

場 所：信州大学

4. 支部活動

4. 1 関西支部

1) 支部評議員会

2007 年度関西支部評議員会

実施日：2007 年 5 月 12 日（土） 11:00～12:00

場 所：大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス C207 教室

内 容：1. 2006 年度事業報告

2. 2006 年度収支決算報告

3. 2007 年度事業計画

4. 2007 年度予算

5. その他

2) 支部幹事会

2007 年度関西支部幹事会

実施日：2007 年 3 月 8 日（土） 10:00～12:00

場 所：千里金蘭大学

3) 支部研究会

高等教育研究会

実施日：2008 年 1 月 12 日（土） 13:00～17:00

場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

テーマ：高等教育機関における情報倫理教育／一般

4) 学生発表会

第 22 回学生研究発表会

実施日：2008 年 3 月 8 日（土） 13:00～17:00

場 所：千里金蘭大学

5) 後援・協賛

(1) 協調自律学習のカスタマイジング(CCAL) 2007

日 程：2007 年 8 月 25 日(土) 14:00～17:00

場 所：大阪信愛女学院短期大学 鶴見学舎 大講義室

主 催：学習開発研究所

4. 2 東海支部

1. 2007 年度 「総会」および「幹事会」の開催

(1) 第 1 回「幹事会」

日 時：4 月 28 日(土) 14:30 ～ 15:00

場 所：名古屋市立味鋺小学校 コンピュータ室

(2) 第 2 回「幹事会」および 2007 年度「総会」

日 時：5 月 19 日(土) 14:00～14:30 第 2 回「幹事会」

14:30～15:00 2007 年度「総会」

会 場：中部大学技術・医療専門学校 408 教室(4F)

議 題：1. 教育システム情報学会東海支部 第 10 期 支部長・副支部長選挙

2. 教育システム情報学会東海支部 会則

3. 教育システム情報学会東海支部 役員名簿

4. 2006 年度 活動報告

5. 2006 年度 決算報告及び監査報告

6. 2007 年度 活動計画(案)

7. 2007 年度 予算(案)

報 告：教育システム情報学会 全国大会など

その他：連絡事項など

(3) 第 3 回「幹事会」

日 時：9 月 1 日(土) 14:30 ～ 15:00

会 場：名城大学(天白キャンパス) タワー75 10 階 1003 会議室

(4) 第 4 回「幹事会」

日 時：12 月 8 日(土) 15:00 ～16:00

会 場：名城大学(天白キャンパス) タワー75 10 階 1002 会議室

(5) 第 5 回「幹事会」

日 時：1 月 26 日(土) 15:00～16:00

会 場：名古屋大学 IB 中棟 012 講義室

2. 研究会の開催

(1) 日 時：4 月 28 日(土) 15:00～16:30

会 場：名古屋市立味鋺小学校コンピュータ室

講演者：名古屋市立味鋺小学校 戸田 和幸

テーマ：「学校教育におけるネット社会を生きる力の基礎を築く学習について」

(2) 日 時：5 月 19 日(土) 15:00 ～ 16:30

会 場：中部大学技術・医療専門学校 408 教室(4F)

講演者：岐阜聖徳学園大学 磯本 征雄

テーマ：「学力達成度と主観的達成感に基づく学習指導の数理モデル」

(3) 日 時：9 月 1 日(土) 15:00 ～ 16:30

会 場：名城大学(天白キャンパス) タワー75 10 階 1003 会議室

講演者：岐阜聖徳学園大学短期大学部 津森 伸一

テーマ：「理解状況に適応した多肢選択問題の自動生成」

(4) 日 時：12 月 8 日(土) 16:00 ～ 17:00

会 場：名城大学(天白キャンパス) タワー75 10 階 1002 会議室

テーマ：「JSiSE 東海支部企画に関するディスカッション」

(5) 日 時：1 月 26 日(土) 15:00～16:00

会 場：名古屋大学 IB 中棟 012 講義室

テーマ：「CMS 体験講習会について」

(6) 日 時：2 月 16 日（土）14:00～16:00

会 場：中部大学技術・医療専門学校

テーマ：「CMS 体験講習会についてのディスカッション」

3. その他

(1) SCS 活用セミナー2007

日 時：6 月 28 日（木） 17:00～19:00

テーマ：SCS 利用研修－高等教育に学ぶ障害者への配慮と学習支援－

第 1 回「IT 技術をととした障害者の就労支援

－社会福祉法人 プロップステーションの取組み」

会 場：愛知教育大学 第二共通棟 SCS 教室

(2) 東海支部協賛の研究会

「第 23 回 東海ファジィ研究会(愛称：蒲研(がまけん))」

日 時：7 月 7 日（土）～8 日（日）

会 場：蒲郡商工会議所（204 会議室）ほか

主 催：日本知能情報ファジィ学会東海支部

(3) マジカルスプーンプロジェクト

日 時：8 月 20 日（月） 場 所：愛知教育大学

日 時：8 月 22 日（水） 場 所：岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス

(4) 教育システム情報学会 第 32 回全国大会

日 時：9 月 12 日（水）～14 日（金）

会 場：信州大学工学部（長野市）

(5) 2007 年度 JSiSE 第 3 回研究会

日 時：10 月 20 日（土）

テーマ：問題を中心とした学習支援およびスキル支援／一般

会 場：名古屋大学

(6) JSiSE 学生・院生研究発表会

日 時：3 月 8 日（土）

会 場：名古屋大学

(7) CMS 体験講習会

日 時：3 月 22 日（土）

会 場：中部大学技術・医療専門学校

主 催：JSiSE 企画委員会

共 催：JSiSE 東海支部

4. 3 中国支部

1.1 中国支部総会の開催

日 時：2007 年 6 月 30 日（土） 13:00～13:20

会 場：宇部フロンティア大学

議 題：1. 2006 年度活動報告

2. 2006 年度決算報告と監査報告

3. 2007 年度活動方針案と予算案

4. その他

1.2 中国支部研究発表会の開催

日 時：2007 年 6 月 30 日（土） 13:30～16:30

会 場：宇部フロンティア大学（会場校責任者：高本明美）

対 象：教育システム情報学会中国支部会員，教員，院生，学生，社会人

内 容：教育システム情報に関連した研究についての研究発表

参加費：無 料

参加者数：23 人

第 2 号議案 2007 年度決算報告に関する件

2007 年度の決算を次のように報告いたします。

1. 2007 年度収支計算書総括表（自 2007 年 4 月 1 日 至 2008 年 3 月 31 日）

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 入会金	79,000	79,000	—
2. 会費	8,528,000	8,528,000	—
3. 資料販売等	1,885,315	1,885,315	—
4. 広告収入	574,686	574,686	—
5. 全国大会	4,272,000	—	4,272,000
6. 企画セミナー	0	—	0
7. 雑収入	140,859	87,999	52,860
当期収入合計 (A)	15,479,860	11,155,000	4,324,860
前期繰越収支差額	7,485,218	5,614,030	1,871,188
収入合計 (B)	22,965,078	16,769,030	6,196,048

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 印刷費	3,196,159	3,196,159	—
2. 通信費	1,520,710	1,520,710	—
3. 会議費	549,325	549,325	—
4. 旅費	549,170	549,170	—
5. 人件費	3,075,096	3,075,096	—
6. 消耗品費	83,390	83,390	—
7. 支部支援費	549,450	549,450	—
8. 賃借料	489,095	489,095	—
9. 全国大会	4,272,000	—	4,272,000
10. 企画セミナー	0	—	0
11. 雑費	29,730	29,730	0
12. 雑損	98,274	82,954	15,320
13. 予備費	601,022	601,022	0
当期支出合計 (C)	15,013,421	10,726,101	4,287,320
当期収支差額 (A) - (C)	466,439	428,899	37,540
次期繰越収支差額 (B) - (C)	7,951,657	6,042,929	1,908,728

2. 2007 年度収支計算書類 (自 2007 年 4 月 1 日 至 2008 年 3 月 31 日)

1) 通常会計収支決算書

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2007 年度決算	増減	備考
1. 入会金	100,000	79,000	△ 21,000	
2. 会費	8,176,000	8,528,000	352,000	
正会員	6,524,000	7,076,000	552,000	
準会員	552,000	452,000	△ 100,000	
企業・団体(維持)会員	1,100,000	1,000,000	△ 100,000	
3. 資料販売等	2,900,000	1,885,315	△ 1,014,685	
研究報告	1,600,000	1,152,584	△ 447,416	
学会誌	1,300,000	732,731	△ 567,269	
4. 広告収入	1,000,000	574,686	△ 425,314	
5. 雑収入	100,000	87,999	△ 12,001	内受取利息 7,746 円
当期収入合計 (A)	12,276,000	11,155,000	△ 1,121,000	
前期繰越収支差額	5,614,030	5,614,030	0	
収入合計 (B)	17,890,030	16,769,030	△ 1,121,000	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2007 年度決算	増減	備考
1. 印刷費	4,300,000	3,196,159	△ 1,103,841	
学会誌	1,750,000	895,230	△ 854,770	
英文誌	900,000	793,695	△ 106,305	
ニューズレター	450,000	385,980	△ 64,020	
研究報告書	800,000	697,819	△ 102,181	
封筒印刷費	300,000	203,805	△ 96,195	
その他印刷費	100,000	219,630	119,630	コピー代・入会案内など
2. 通信費	1,750,000	1,520,710	△ 229,290	
3. 会議費	500,000	549,325	49,325	
4. 旅費	400,000	549,170	149,170	
5. 人件費	3,500,000	3,075,096	△ 424,904	含む 150 万円未払金
6. 消耗品費	300,000	83,390	△ 216,610	
7. 支部支援費	550,000	549,450	△ 550	
支部	60,000	60,000	0	
研究会委員会	90,000	180,000	90,000	
その他支援費	400,000	309,450	△ 90,550	
8. 賃借料	472,500	489,095	16,595	ドメイン料金
9. 雑費	700,000	29,730	△ 670,270	支払手数料等
10. 雑損		82,954	82,954	未収入金・使途不明金処置
11. 予備費	500,000	601,022	101,022	事務所移転費用等
当期支出合計 (C)	12,972,500	10,726,101	△ 2,246,399	
当期収支差額 (A) - (C)	-696,500	428,899	1,125,399	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	4,917,530	6,042,929	1,125,399	

2) 事業会計収支計算書

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2007 年度決算	増減	備考
1. 全国大会	5,000,000	4,272,000	△ 728,000	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 雑収入	0	52,860	52,860	31 回大会の未納金振込み
当期収入合計 (A)	5,000,000	4,324,860	△ 675,140	
前期繰越収支差額	1,871,188	1,871,188	0	
収入合計 (B)	6,871,188	6,196,048	△ 675,140	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2007 年度決算	増減	備考
1. 全国大会	5,000,000	4,272,000	△ 728,000	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 30 周年記念事業	0	0	0	
4. 雑損		15,320	15,320	未収入金の処置
5. 予備費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	5,000,000	4,287,320	△ 712,680	
当期収支差額 (A) - (C)	0	37,540	37,540	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	1,871,188	1,908,728	37,540	

3. 貸借対照表 (2008 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

普通預金 (みずほ麹町) 1325993	3,455,202	前受金		2,208,484
普通預金 (みなと・塚口) 1514304	29,869	未払金		2,536,515
普通預金 (池田・上新庄) 13440	563,801	負債合計		4,744,999
普通預金 (みずほ・麹町) 2132303	1,356,130			
普通預金 (みずほ・本郷通) 8040276	540,350	基本金		4,237,205
普通預金 (りそな・塚口) 7016502	106			
普通預金 (UFJ・上新庄) 4601651	630,854			
郵便振替 6-709632	6,015,665			
郵便振替 5-261675	110,000			
郵便定期 (基本財産)	4,237,000	別途積立金		通常 0 事業 200,000 200,000
現金 (基本財産)	205			
現金 事務局 189,718 英文誌 4,961	194,679	次期繰越 収支差額	通常 (前期分) 5,614,030 (当期分) 428,899	6,042,929
未収入金 0	0		事業 (前期分) 1,871,188 (当期分) 37,540	1,908,728
		資本合計		12,388,862
資産合計	17,133,861	資本負債合計		17,133,861

4. 計算書類に対する注記

次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	7,485,218	7,951,657
合計	7,485,218	7,951,657

第 3 号議案 2007 年度監査報告に関する件

2007 年度の監査報告は次の通りです。

監査報告

教育システム情報学会

会長 岡本 敏雄 殿

2007 年度の教育システム情報学会の事業執行の状況並びに、
2007 年度の財務諸表および決算報告について、厳正に監査した
結果、適法かつ妥当であることを確認致しました。

2008 年 8 月 21 日

監 事 伊藤 紘二

同 小荒井 順

第 4 号議案 2008 年度活動計画（案）に関する件

2008 年度の活動計画を次のように提案いたします。

2. 運営活動

2. 1 第 34 回通常総会

日時：2008 年 9 月 4 日（木）

場所：熊本大学

2. 2 理事会・評議会

○第 123 回理事会・評議会

日時：2008 年 4 月 5 日（土）

場所：銀座会議室 1 丁目

○追加臨時理事会・評議会

日時：2008 年 5 月 10 日（土）

場所：銀座会議室 1 丁目

○第 124 回理事会・評議会

日時：2008 年 5 月 31 日（土）

場所：大阪経済大学 E 館

○第 125 回理事会・評議会

日時：2008 年 8 月 2 日（土）

場所：銀座会議室 1 丁目

○第 126 回理事会・評議会

日時：2008 年 9 月 4 日（土）

場所：熊本大学

○第 127 回理事会・評議会

日時：2008 年 9 月 20 日（土）

場所：東京

○第 128 回理事会・評議会

日時：2008 年 11 月 29 日（土）

場所：大阪

○第 129 回理事会・評議会

日時：2009 年 1 月 31 日（土）

場所：東京

○第 130 回理事会・評議会

日時：2009 年 3 月 28 日（土）

場所：東京

3. 事業活動

3. 1 研究会の開催

内 容	担 当	日 時	会 場
第 1 回 e ラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) / 一般	石 打 智 美 北 村 士 郎 仲 林 清 松 居 辰 則	2008 年 5 月 30 日 (金)	メディア教育 開発センター
第 2 回 e-learning の質保証 / 一般	小 松 川 浩 野 崎 浩 成 布 施 泉 不 破 泰	2008 年 7 月 26 日 (土)	愛知教育大学
第 3 回 ゲーム・シミュレーション, エンタテインメントと教育 / 一般	伊 東 幸 宏 小 西 達 裕 林 敏 浩 米 澤 宣 義	2008 年 10 月 4 日 (土)	香川大学
第 4 回 新しいインタラクションを取り入れた学習支援およびスキル支援 / 一般	小 尻 智 子 柏 原 昭 博 曾 我 真 人 平 嶋 宗	2008 年 11 月 14 日 (金)	和歌山大学
第 5 回 新しいデバイスと教育システム / 一般	佐 々 木 整 永 森 正 仁 三 石 大	2009 年 1 月 23 日 (金)	八王子学園都 市センター
第 6 回 大学の情報教育 / 一般	松 永 公 廣 西 野 和 典 西 端 律 子	2009 年 3 月 14 日 (土)	長崎大学

3. 2 委員会活動 他

○e-learning/CSCLシステム・教育技術委員会

- ・全国大会ワークショップの開催
- ・委員会活動の成果を刊行物とする。

○SNS・新技術創造委員会

- ・全国大会におけるワークショップの実施
テーマ：SNS的アプローチを利用した教育・学習支援
- ・下記のテーマで委員会（あるいはワークショップ）を実施
テーマ：学会活動とSNS
- ・学会誌における解説特集の企画に関する検討

○産学連携・人材育成システム委員会

産学連携・人材育成という主旨に沿って、以下のような活動を行う。

- ・企業人事育成担当者向けに、人事育成に関する最先端および基礎的な話題を提供する。他学会・組織とのコラボ・レーションを図る。
- ・JSISE会員（特に学生）向けに、企業における人材開発の目的・内容・重要性などを理解してもらう機会を設け人材育成開発という職種・ビジネス分野に目を向けてもらう。
- ・大学研究者と教育事業者・企業内教育担当者の技術交流によって、JSISE会員が行っている研究の産業応用を図る。
- ・大学や教育組織の（eラーニング）ビジネスモデルや人材育成モデル（FD, SD, など）に関する研究を、海外の成功・失敗事例なども交えながら紹介する。
- ・今年度は、上記のテーマにそってイベント（セミナー, シンポジウム, 研究会）を年2回程度を目標に開催する。
- ・第1回目は、全国大会のパネル討論会を企画する。

○情報教育特別委員会：情報教育に関する調査

大学新入生に対する教科「情報」知識および意識調査（2007 年版）

実施日：2008 年 4 月～5 月

場 所：委員が所属する大学および協力大学

2007年度に実施した高等学校教科「情報」理解度診断テストと同一のテストを2008年度の新入生にも実施し、2008年度と2007年度の結果を比較して考察する。また、その結果を、全国大会のワークショップで報告し、検討して大学での基礎情報教育の資料とする。

○渉外・活性化委員会

「JSiSE 学生・院生研究発表会」を全国規模に拡大し、北海道、九州でも開催を計画

○会員獲得戦略委員会

2007年度の活動をさらに強化し、会員数の増加と財政基盤強化を推進する予定

○国際化委員会

ITS2008（協賛団体として参加しているIntelligent Tutoring Systems）

開催日：2008年6月23日～27日

開催地：Montreal, Canada

上記においてBest paper awardを実施

今後このような活動を進めていき、可能であれば、JSiSE論文賞と呼べる賞をどこかの国際会議で定着させることを目指す。

更に、著名な国際会議を日本に誘致することや近隣諸国との交流を深めることを目的としてWork shopを開催することなども検討する予定である。

○教育・学習・訓練支援ツール・インタフェース技術委員会

教育・学習・訓練支援ツール・インタフェース技術に関する新しい研究の動向を考える機会として会合（研究会など）を実施する予定。

主 題：教育・学習・訓練支援ツールの新展開

実施日：2009 年上旬を予定

場 所：（未定）

○WWW 委員会

- ・JSiSE Webサイトおよびメーリングリストを管理する。
- ・JSiSE WebサイトのリニューアルとWebサイト管理体制について検討していく。

○企画委員会

1. Sun SPOT 講習会

内 容：Java 技術の変遷 ― 誕生から最新動向まで ― Sun SPOT World

日 時：2008 年 9 月 19 日（金） 13 時～16 時 30 分

場 所：八王子学園都市センター 第 1 セミナー室

東京都八王子市旭町 9 番 1 号 JR 八王子駅北口すぐ

対 象：ワイヤレスセンサーデバイスに興味のある方、Java に興味のある方

定 員：30 名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

概 要：― Java でリアルワールドをプログラムしよう ―

Sun SPOT による無線センサーネットワークは、無線通信機能を備えた小型のセンサーデバイスを広く分散させてネットワークを構成させる事ができます。それぞれのセンサーが取得したデータを自律分散的に収集する、つまり多数のセンサーをネットワーク環境で連携させて動作させることが可能な技術で、教育工学分野への幅広い応用が期待できます。

2. 講演会

内 容：OSS の教育利用の現状と OSP プロジェクトの報告

日 時：2008 年 10 月 10 日（金）

場 所：関東地区

3. 講演会

内 容：教育工学に関する講演

日 時：2008 年秋の予定

場 所：関西地区

3. 3 学会誌の発行

○論文誌

Vol. 25No. 1 JSiSE2008

Vol. 25No. 2 JSiSE2008

Vol. 25No. 3 JSiSE2008

Vol. 25No. 4 JSiSE2008

Vol. 26No. 1 JSiSE2009（特集号：次世代情報教育の構築へ向けて）

○英文誌

Vol. 7No. 1 JSiSE2008

3. 4 研究報告書の発行

Vol. 23, No. 1 研究報告

Vol. 23, No. 4 研究報告

Vol. 23, No. 2 研究報告

Vol. 23, No. 5 研究報告

Vol. 23, No. 3 研究報告

Vol. 23, No. 6 研究報告

3. 5 ニュースレターの発行

No. 154 2008 年 5 月 31 日

No. 157 2008 年 11 月 30 日

No. 155 2008 年 7 月 31 日

No. 158 2009 年 1 月 31 日

No. 156 2008 年 9 月 30 日

No. 159 2009 年 3 月 31 日

3. 6 全国大会

第 33 回全国大会

日 時：2008 年 9 月 3 日（水）～5 日（金）

場 所：熊本大学

4. 支部活動

4. 1 関西支部

1) 支部評議員会

2008 年度関西支部評議員会

実施日： 2008 年 5 月 31 日（土） 13:00-14:00

場 所： 大阪経済大学

内 容： 1. 2007 年度事業報告
2. 2007 年度収支決算報告
3. 2008 年度事業計画
4. 2008 年度予算
5. その他

2) 支部幹事会

数回実施（詳細は未定）

3) 支部研究会

(1) 初等・中等教育研究会

詳細は未定

(2) 高等教育研究会

高校の情報担当以外の教員や中高校生の保護者を主な対象として、情報分野を勉強することの楽しさを理解してもらう啓発活動、および、大学での教養としての情報教育の必要性を議論する活動を企画する。

(3) 若手研究者フォーラム

第 15 回卵 RUN フォーラム

日 時： 2008 年 9 月 2 日（火） 13:00-17:00

場 所： ホテル熊本テルサ 研修室

第 16 回卵 RUN フォーラム

関西地区にて実施予定

4) 学生発表会

第 23 回学生研究発表会

日 程： 2009 年 3 月（土）

場 所： 未定

5) 展示会、学習会

状況に合わせて企画する

4. 2 東海支部

1. 2008 年度 総会および幹事会

第 1 回「幹事会」および 2008 年度「総会」

日 時： 5 月 17 日（土） 15:00～15:30

会 場： 金城学院大学 W9 号館 W9-408 教室

議 案：

1. 教育システム情報学会東海支部 会則
2. 教育システム情報学会東海支部 役員名簿
3. 2007 年度 活動報告
4. 2007 年度 決算報告及び監査報告
5. 2008 年度 活動計画（案）
6. 2008 年度 予算（案）

2. 研究会の開催

第 1 回研究会

日 時： 5 月 17 日（土） 15:30 ～ 17:00

場 所： 金城学院大学 W9 号館 W9-408 教室

1) 講演者： 金城学院大学 古寺 浩

テーマ： 金城学院大学における Moodle の教育的利用

2) 講演者：愛知大学 谷口 正明

テーマ：Office の自動採点ソフト HITs の紹介

3) 講演者：日立製作所 新事業開発本部 杉山康彦ほか

テーマ：デジタルペンを利用した義務教育における教育システム開発プロジェクト

*研究会は、1～2 ヶ月に 1 回の割合で、定期的開催する。

3. 日立製作所との共同研究プロジェクトについて

プロジェクトへの取り組み方については、幹事会に一任する。

例えば、以下のような取り組みが考えられる。

1) 東海支部，日立製作所，教育委員会の三者が連携をして、文科省への事業に申請を行う。

2) 支部会員の中から、プロジェクトの共同研究者を広く募る。

3) プロジェクトについて検討する作業部会（ワーキンググループ）を組織する。

4. その他

(1) JSiSE 第 2 回研究会

日 時：7 月 26 日（土）

会 場：愛知教育大学

(2) 教育システム情報学会第 33 回全国大会

日 時：9 月 3 日（水）～5 日（金）

会 場：熊本大学

4. 3 中国支部

2.1 2008 年度 JSiSE 中国支部総会の開催

日 時：2008 年 6 月 28 日（土）13:00～13:20

会 場：岡山理科大 15 号館 3 階 21531 教室（会場校責任者：宮地 功 miyaji@mis.ous.ac.jp）
〒700-0005 岡山市理大町 1-1

議 題：1. 2007 年度活動報告
2. 2007 年度決算報告と監査報告
3. 2008 年度活動方針案と予算案
4. その他

2.2 中国支部研究発表会の開催

日 時：2008 年 6 月 28 日（土）13:20～17:00

会 場：岡山理科大 15 号館 3 階 21531 教室（会場校責任者：宮地 功 miyaji@mis.ous.ac.jp）

対 象：教育システム情報学会中国支部会員，教員，院生，学生，社会人

内 容：教育システム情報に関連した研究についての研究発表

参加費：無 料（ただし，講演論文集代 1000 円）

参加者数：26 人

第 5 号議案 2008 年度収支予算(案)に関する件

2008 年度の収支予算を次のとおり提案します。

1. 2008 年度収支予算総括表 (2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日)

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 入会金	50,000	50,000	—
2. 会費	9,280,000	9,280,000	—
3. 資料販売等	2,000,000	2,000,000	—
4. 広告収入	1,000,000	1,000,000	—
5. 全国大会	5,000,000	—	5,000,000
6. 企画セミナー	0	—	0
7. 雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計 (A)	17,430,000	12,430,000	5,000,000
前期繰越収支差額	7,951,657	6,042,929	1,908,728
収入合計 (B)	25,381,657	18,472,929	6,908,728

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 印刷費	5,150,000	5,150,000	—
2. 編集委員会委託費	0	1,000,000	—
3. 通信費	1,550,000	1,550,000	—
4. 会議費	500,000	500,000	—
5. 旅費	500,000	500,000	—
6. 人件費	3,000,000	3,000,000	—
7. 消耗品費	200,000	200,000	—
8. 支部支援費	490,000	490,000	—
9. 賃借料	1,000,000	1,000,000	—
10. 光熱費	130,000	130,000	—
11. 全国大会	5,000,000	—	5,000,000
12. 企画セミナー	0	—	0
13. 雑費	200,000	200,000	0
14. 予備費	300,000	200,000	100,000
当期支出合計 (C)	19,020,000	13,920,000	5,100,000
当期収支差額 (A) - (C)	- 1,590,000	- 1,490,000	- 100,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	6,361,657	4,552,929	1,808,728

2. 2008 年度通常会計収支予算書(2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日)

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2008 年度予算	増減	備考
1. 入会金	100,000	50,000	△ 50,000	@1,000 x 50 人
2. 会費	8,176,000	9,280,000	1,104,000	
正会員	6,524,000	7,700,000	1,176,000	@7,000 x 1100 人
準会員	552,000	480,000	△ 72,000	@4,000 x 120 人
企業・団体(維持)会員	1,100,000	1,100,000	0	@50,000 x 22 社
3. 資料販売等	2,900,000	2,000,000	△ 900,000	
研究報告	1,600,000	1,000,000	△ 600,000	
学会誌	1,300,000	1,000,000	△ 300,000	
4. 広告収入	1,000,000	1,000,000	0	
5. 雑収入	100,000	100,000	0	
当期収入合計 (A)	12,276,000	12,430,000	154,000	
前期繰越収支差額	5,614,030	6,042,929	428,899	
収入合計 (B)	17,890,030	18,472,929	582,899	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2008 年度予算	増減	備考
1. 印刷費	4,300,000	5,150,000	850,000	
学会誌	1,750,000	2,500,000	750,000	6 回分
英文誌	900,000	1,000,000	100,000	1 回分
ニューズレター	450,000	450,000	0	6 回分
研究報告書	800,000	800,000	0	
封筒印刷費	300,000	300,000	0	
その他印刷費	100,000	100,000	0	コピー代・入会案内など
2. 編集委員会委託費	-	1,000,000	1,000,000	国際文献印刷
英文誌	-	300,000	300,000	
和文誌	-	700,000	700,000	
3. 通信費	1,750,000	1,550,000	△ 200,000	含むプロバイダー料金
4. 会議費	500,000	500,000	0	理事会等
5. 旅費	400,000	500,000	100,000	
6. 人件費	3,500,000	3,000,000	△ 500,000	
7. 消耗品費	300,000	200,000	△ 100,000	
8. 支部支援費	550,000	490,000	△ 60,000	
支部	60,000	60,000	0	
研究会委員会	90,000	180,000	90,000	
その他支援費	400,000	250,000	△ 150,000	
9. 賃借料	472,500	1,000,000	527,500	サーバー代・家賃
10. 光熱費	-	130,000	130,000	
11. 雑費	700,000	200,000	△ 500,000	支払手数料等
12. 予備費	500,000	200,000	△ 300,000	
当期支出合計 (C)	12,972,500	13,920,000	947,500	
当期収支差額 (A) - (C)	- 696,500	- 1,490,000	△ 793,500	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	4,917,530	4,552,929	△ 364,601	

3. 2008 年度事業会計収支予算書 (2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日)

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2008 年度予算	増減	備考
1. 全国大会	5,000,000	5,000,000	0	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 雑収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	5,000,000	5,000,000	0	
前期繰越収支差額	1,871,188	1,908,728	0	
収入合計 (B)	6,871,188	6,908,728	0	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2007 年度予算	2008 年度予算	増減	備考
1. 全国大会	5,000,000	5,000,000	0	
2. 企画セミナー	0	0	0	
3. 予備費	0	100,000	100,000	
当期支出合計 (C)	5,000,000	5,100,000	100,000	
当期収支差額 (A) - (C)	0	100,000	100,000	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	1,871,188	1,808,728	△ 62,460	

第 6 号議案 規約改正に関する件

学会規約が一部改正された。

改正後	改正前
第 1 章 総則 第 2 条 本会は、本部を大阪府大阪市東淀川区 瑞光 3-3-25 パティオ白川 101 号	第 1 章 総則 第 2 条 本会は、本部を大阪府大阪市東淀川区 大隅 2-2-8 大阪経済大学内 ※所在地の変更

学会誌編集委員会よりお知らせ

◆◇◆次期特集号について◆◇◆

平成 20 年 9 月 20 日に開催されました、JSiSE 第 127 回理事・評議員会において、新規に e ラーニング特集号を企画することが承認されました。これを受けて学会誌編集委員会では、研究会委員会と協議しながら、

特集テーマ：「e ラーニング環境のデザインと実践運用(仮題)」

募集案内、締切りの時期（最短は 2009 年 5 月上旬締切り）を策定し、理事・評議員会の承認が得られてから、ニューズレター・学会 Web にて皆様にご案内したいと計画を進めております。

なお、特集号に連携した研究会の開催も計画しております。

◆◇◆Web 投稿について◆◇◆

論文（和文）の Web 投稿受付が始まります。

ニューズレター NO.154 などでお知らせしておりましたが、論文の Web 投稿受付がいよいよ 10 月 1 日より開始されます。10 月 1 日以降の和文論文投稿は JSiSE の Web ページから投稿をお願いいたします。

英文誌の Web 投稿は準備中です。英文誌への投稿は従来通り行ってください。

URL : <http://www.jsise.org/>

なお、Web 投稿に関する問い合わせは、下記、編集事務局にお願い致します。

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19
(株) 国際文献印刷社内
教育システム情報学会編集事務局 担当：長澤
TEL：03 (5389) 6492 FAX：03 (3368) 2827
メールアドレス： jsise-edit@bunken.co.jp

☆☆事務局よりお知らせ☆☆

会員の皆様には、平素より格別のご厚配を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、年会費納入に関しましてご連絡いたします。

2008 年度年会費の納入期日は、9 月 30 日までとなっております。

まだご入金がお済でない学会員様は、早急にご入金頂きますようお願い致します。

10 月 31 日時点で、ご入金が確認できていない会員様、過去年会費を滞納されております会員様につきましては、場合によりましてご入金を確認できますまで、学会発行物の送付をお止めさせて頂く場合がございますので、ご承知おきくださいませ。

年会費納入状況をお知りになりたい場合や、ご質問・ご不明な点は、事務局までお問い合わせ下さい。

ご参考までに年会費をお知らせいたします。

- 正会員：7,000 円
- 準会員：4,000 円
- 企業・団体会員：50,000 円
- 研究報告年間購読：4,000 円
- 入会金：1,000 円（入会時のみ。但し、キャンペーン中により免除させていただいた方もいらっしゃいます）



また、所属先のご変更・郵送物送付先の変更など
ご登録いただいております内容にご変更がありましたら、
随時事務局にてたまわりますので、ご連絡くださいますよう
お願い致します。

教育システム情報学会事務局

〒533-0005

大阪市東淀川区瑞光 3-3-25 パティオ白川 101 号

TEL/FAX：06-6324-7767

E-mail：secretariat@jsise.org



☆☆新入会員のご紹介☆☆

■正会員・準会員■

2008. 09. 17 現在

会員番号	氏名	所属機関	会員種別
JSiSE-A0802793	脇 浩美	広島大学大学院	準会員
JSiSE-A0802794	福永栄一	大阪成蹊大学	正会員
JSiSE-A0802795	那須靖弘	甲子園大学	正会員
JSiSE-A0802796	船木英岳	舞鶴工業高等専門学校	正会員
JSiSE-A0802797	小泉力一	尚美学園大学	正会員
JSiSE-A0802798	小山田誠	熊本大学大学院	正会員
JSiSE-A0802799	森田晃子	(株)サンライトヒューマン	準会員
JSiSE-A0802800	松本俊之	青山学院大学	正会員
JSiSE-A0802801	奥田麻衣	広島大学大学院	準会員
JSiSE-A0802802	赤崎竜次	沖縄県立美来工科高等学校	正会員
JSiSE-A0802803	八木秀文	熊本大学	準会員
JSiSE-A0802804	大森不二雄	熊本大学	正会員
JSiSE-A0802805	坂本雅洋	京都情報大学院大学	準会員
JSiSE-A0802806	佐藤伸平	金沢大学電子出版 株式会社	正会員
JSiSE-A0802807	猪貝達弘	NHK学園	正会員
JSiSE-A0802808	趙 新有	電気通信大学	準会員
JSiSE-A0802809	本田直也	大手前大学	正会員
JSiSE-A0802810	太田光一	電気通信大学	準会員
JSiSE-A0802811	青木佑樹	大阪府立大学	準会員
JSiSE-A0802812	今野文子	東北大学大学院	準会員
JSiSE-A0802813	吉田明恵	熊本大学	準会員
JSiSE-A0802814	尾崎拓郎	大阪教育大学大学院	準会員
JSiSE-A0802815	伊藤健二	慶應大学	正会員
JSiSE-A0802816	佐藤淳志	熊本大学	準会員
JSiSE-A0802817	石川千温	札幌学院大学	正会員
JSiSE-A0802818	秋葉裕子	学校法人 後藤学園	準会員

■企業・団体新入会員■

2008. 09. 17 現在

企業・団体名	登録会員	入会年月日
日本システム技術株式会社 JSiSE -IA080098 担当：野間美景	山崎 樹 前田加奈子	2008/09/16

■会員数■

2008. 09. 17 現在

	正会員	準会員	企業・団体	合計
入会	13	13	1	26
企業団体の登録会員	2			2
合計	1364	261	39	1665

